

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	11
サポートクラス	バトル	Lv.1:	ドラゴンユニット	性別	男
称号クラス				年齢	22
種族	ディーバ			境遇	
出自 (効果)				目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	22	18	21	9	9	21	6
ボーナス	7	6	7	3	3	7	2
クラス修正	2	2	2	0	0	2	0
他修正			2		2		
能力値	9	8	11	3	5	9	2

HP	130
MP	86
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	Ridill		-1	21				-1	
左手									
頭部	ムガ=モリの頭巾					5	2		
胸部	ムガ=モリの馬上服					7			
補助	スピードシューズ				1	4		3	3
装身具	ムガ=モリの爪								
能力値			8	0	11	0	9	16	14
スキル				1		1			
その他	龍+リンク5+ライトニング			8				17	32
総計(右)			7	30					
総計(左)			8	9	12	17	11	35	49
総計(両)			7	30					m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	3			3	+ 2 d
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ベルトポーチ	調理道具
小道具入れ	筆記用具
バッグパック	アズライク
ランチボックス	ハクロ
ポーションホルダー	ドレスブック
HPポーション	ムガ=モリの角笛
MPポーション	ドロップポーチ
肉	キャップライト
野菜	飛翔札
冒険者セット	理力札
エリンディル西方トラベルガイド	

現在重量:	21	所持金:	9920	預金・借金:	
最大重量:	29				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
	★							
効果:								
カバームーブ	1							
効果:								
アームズマスタリー:両手剣	1							
効果:								
カバーリング	1							
効果:								
エボリューション	5							
効果:								ドラゴンスパーク×3ダメ
ブレスアシスト	1							
効果:								
ドラゴンスパーク	1							
効果:								2d+CLダメージ 精神
	★							
効果:								
タイプ:ファイア	1							
効果:								火属性 攻撃のダメ+2
ボルテクスアタック	1							
効果:								
ウェポンガード	1							
効果:								
ライトニングライド	5							
効果:								
コンパニオン	1							
効果:								
イクストリアン	1							
効果:								
ウェイクアップ	3	6						
効果:								sl×3

《アインホルン家》
アインホルン家は、かつて闇に包まれ歴史が紐解かれていない火の時代初期の王族であり、神族の血を引いている。
アインホルン王家は現キルディア王国がある無限の砂漠のあたりから霧の森、影の森辺りまでの勢力を持った王国だったらしい。
ジークフリート・フォン・アインホルンはそんな王族の末裔である。
そんな彼の家は現在王家としてその名を残していない。その代わり彼らには誇りが満ちている。また神族の血を引くためか寿命が不定である。
そのことから、子孫はそれぞれ一つの道を究めようとするという特徴がある。
《ジークフリート・フォン・アインホルン》
自らが王であり半神であるという誇りに満ち溢れた青年。
己は生まれながら王であり神であるという自負から、人を保護し、導くことを己の目標としている。王道とはなにかは未だ探究中。
① 王とは、権力ではなく在り方であるという自負。人の前に立ち、進むべき道、踏み出せない道を率先して進む。
② 神であるという自負。人より優れているという慢心ではなく、人より優れるべきだという探究心。
小さなころに母が死に、父は流浪の冒険者である。彼は王国時代から脈々と続く世話役の家系だというじいやとばあやに育てられた。
かつて王家であったという歴史から王とは何か、ということに悩み、爺やと婆やに父から受け継いでいた資産的価値があるものを預け旅に出る。
各地で見分を広げるうちに目撃した権力者の腐敗から、王族・神族としての誇りはあるが、驕りというものに忌避を覚える。
何れ来るべき日が来るかもしれないと考えており、率先して民の暮らしに交わる。その中でも労力を注いでいるのが農業や治水などである。
学びの旅のうちに大学都市オーカーに一時入学。"地球"の農業を学んだことがある。
二匹の竜を連れてくる。5歳の頃に気付いたら部屋に置かれていた卵から生まれた精霊竜のアリアと、
旅の最中になつかれ旅を共にすることになった騎龍のロッドである。
妖精郷の騎士、アロングナイトは時折爺や婆やの家を訪れる気さくなおじさんという認識。最近やばい人らしいことに気づいた。
『……ぶむ。俺に何か用か?』『良い士だ。……皆さんの営みを感じるようだ。俺にも農作業で手伝えることはあるか?』
『俺はジークフリート。ただのジークフリートだ。困ったことがあれば手伝うよ。』『……神として、王として。民を虐げる貴様に天誅を下そう!』
《父・アレクサンダー・フォン・アインホルン》

